



New International School of Japan

会社説明

学校法人岩田学園ニューインターナショナルスクールオブジャパン（ニューインターナショナルスクール）は、2001年に創立し、国籍を問わず、日本に長期在住または永住されている方や、国際結婚されている方のニーズに応えるべく特別に設立された国内最初のインターナショナルスクールです。常に研究を重ね、二言語教育・マルチエイジ教育が子どもにとって大変有益であることをはっきりと認識しております。

さらに、当校では、日本語を主体とした教育を行う学校と英語を主体とした教育を行う学校間を転校する子ども達にとって、その移行をスムーズにできるようサポートします。日本に短期滞在される方で日本語・英語の両言語に関心をお持ちの方も歓迎しております。

創立当初は、3歳児から第9学年までを受け入れておりましたが、2014年8月28日より、第12学年までが通う学校へと発展しました。そして、3歳児から第12学年までのプログラムが、ミドルステート学校・大学協会（MSA）及びインターナショナルスクール会議（CIS）より認可を受けております。また、当校は、日本インターナショナルスクール会議（The Japan Council of International Schools）、The Progressive Education Network（PEN）に加入し、The Tokyo Association of International Preschools の設立当初からの会員で、The Corporate Contribution Plan Association (CCPA)に加盟しております。

ニューインターナショナルスクールの子ども達は、子どもが中心となり熱心に取り組める環境のもとで、社会性や学力、創造力、主体性を伸ばしていきます。さらに、当校ではスコットランドの「卓越へのカリキュラム」を二言語で実施しており、子ども達は知識、技能、学習への姿勢を発達させていきます。

子ども達は英語と日本語で学び、授業はマルチエイジクラスの中で、チームティーチングの手法を使って進めております。また、テーマに基づいてカリキュラムを組んでおり、教材はそのカリキュラムに合わせて準備しております。そして、クラス全体での学習や個人で進める学習、さらにセンターやプロジェクトをベースにした学習を組み合わせております。1クラスには、約20人の児童に対して2人の担任を配置しております。

マルチエイジ教育は、モンテッソーリ教育のように構成主義の考えに基づいた教育であり、子ども達は体験に基づいて知識や理解を構築していきます。それは、構成主義の中でもヴィゴツキー（心理学者）が唱えた構成主義であり、学習及び言語習得が社会的プロセスであることを強調しています。つまり、子ども達は高度にインタラクティブな手法を用いた教育環境の下で、教師から学ぶと同時に子ども達同士から学びます。子ども達は、学年レベルという従来からの制約に妨げられることなく進歩できるような環境でこそ成長を遂げることができるのです。

当校の年度は8月下旬に開始し、その年に6歳以上になる子ども達は全員スズキメソッド（耳から曲を覚える）でヴァイオリンを習い、テコンドーなどを取り入れた体育の授業に参加します。また、中国語のクラスは選択授業として開講しております。

本校に興味をお持ちくださった方は、アポイントをお取りの上、見学にお越しください。施設のご案内を含む学校説明会へのご参加も歓迎しております。学校説明会は、毎月英語で1回以上、日本語で1回以上行っております。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

インターナショナルスクール

代表取締役

Steven Parr

設立年

2001年

URL

<http://newis.ed.jp/>

オフィス情報

メインオフィス

〒1710022

東京都 豊島区 南池袋3-18-32